

## 同窓生、宮坂昌之さんの新刊紹介

上原 昇（2組）

免疫学の第一人者として知られる同窓生の宮坂昌之さん（64期、大阪大学免疫学フロンティア研究センター招へい教授、関西同窓会所属）が以下の新刊を上梓しました。これまでも宮坂さんの新刊が出るたびに本 HP で紹介してきましたが、新書版としては5冊目を数えます。（下記参照）

今回は『ウイルスはそこにいる』〔宮坂さんの娘婿でウイルス学者の定岡知彦さん（定岡さんは同窓生ではありません）：藤田医科大学感染症研究センター准教授との共著、講談社現代新書、24年4月20日発行、920円+税〕です。

まえがき「・・・われわれはウイルスと闘いながらも、ある時は共存、共生し、その中で生き抜いて進化してきたという事実を忘れてはならない。」から7章にわたって専門的ではありますが、分かり易い文章は説得力があります。

特に7章では、「新型コロナワクチンの副作用の恐怖を掻き立てるようなことを言う人たち、その多くがほとんどカッコつきの専門家」と一刀両断しています。

私（上原）も医学的な内容についての理解には限界がありますが、個人的に過去に罹患した病気についての解説などもあって、しっかりと読むことが出来ました。

同期諸氏も同世代の先輩の啓蒙書を手にとってみたら如何でしょう。

### ウイルスはそこにいる

宮坂昌之 定岡知彦

ヒトは  
ウイルスと共に  
生きている

免疫学者とウイルス学者が  
タッグを組んで生命科学最大の  
フロンティアを一望！

- なぜ感染すると病気に？
- ミクロの世界で繰り広げられる驚きの攻防戦とは？

60

講談社現代新書

#### 【宮坂さんの新書一覧】

『免疫力を強くする』

（2019年12月、講談社ブルーバックス）

『新型コロナ 7つの謎』

（2020年11月、講談社ブルーバックス）

『新型コロナワクチン 本当の「真実」』

（2021年8月、講談社現代新書）

『新型コロナの不安に答える』

（2022年3月、講談社現代新書）

以上